

令和8年度 シラバス

愛媛県立南宇和高等学校

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	2	
年組	1年1・2・3組		教科書(発行所)	MOUSAⅠ(教育芸術社)		
月	学習内容	学習の具体的な内容	評価の観点			項目
			知	思	態	
4	ポピュラー・ソング	○校歌	○		○	学習の目標
5	西洋の音楽	○翼をください	○		○	
		○若者のすべて	○		○	
		○O sole mio	○	○		
		(中間考査)	○	○		
6	鑑賞	○Caro mio ben	○		○	
		○モーツァルトの生涯と作品	○		○	
			○	○		
			(期末考査)	○	○	
中学校での学習内容を踏まえ、表現領域を「歌唱」「器楽」「創作」の三分野で構成し、表現領域全体を通じて創造的な表現力を高める。音楽に対する創造的な理解を深める観点から、表現領域の全ての分野と鑑賞領域を学習する。						
7	日本の音楽	○日本の伝統音楽	○	○		学習の方法
8	器楽	○篠笛	○	○		
9			西洋の音楽	○	○	○
				○	○	
10			創作	○Heidenröslein	○	○
○Ich liebe dich	○	○		○		
11	○オノマトペによる創作			○	○	
	○「コード進行」をもとに創作			○	○	
11・12		(期末考査)				評価の観点
1 知識・技能 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性を理解している。創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。 2 思考・判断・表現 音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを甘受しながら、知覚したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもってたり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わったり聴いたりしている。 3 主体的に学習に取り組む態度 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。						
12	合唱	○言わない		○	○	評価の方法
1	歌唱	○卒業式の歌			○	
2		○この道	○	○	○	
			○	○	○	
3	1年間のまとめ	1年間の取り扱った教材	○	○		1 課題・学習プリント 2 平常考査 3 平常学習態度 4 実技 5 出席状況 また、観点別評価(A・B・C)と100点法による評価を行い、学年末において5段階評定に総括する。
【備考】						
※ 評価の観点は愛媛県県立学校評価の手引(愛媛県教育委員会)による。						

令和8年度 シラバス

愛媛県立南宇和高等学校

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	2	
年組	2年1, 2組		教科書(発行所)	MOUSAⅡ(教育芸術社)		
月	学習内容	学習の具体的な内容	評価の観点			項目
			知	思	態	
4	ポップス	○Prelude I	○		○	学習の目標
			○		○	
			○		○	
			○		○	
5	日本の歌曲	○ハナミズキ	○		○	
		○浜辺の歌		○	○	
	器楽アンサンブル	(中間考査)				「音楽Ⅰ」の学習を基礎にして、個々の能力・適性、興味・関心等に応じた活動を展開し、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばすことをねらいとする。文化的・歴史的背景などの広い視野をもって音楽に目を向け、個性的・主体的な活動を充実し、音楽文化の理解を深める。
		○ギター		○	○	
				○	○	
				○	○	
6		○上を向いて歩こう	○		○	
			○		○	
		(期末考査)	○		○	授業の進め方
						グループごとに関心や能力に応じた楽曲を選択してアンサンブルを行う。創作については音の組み合わせ方などを自らが見つけようとするなど、生徒の創意工夫を一層重視した学習を行う。
7	創作	○演奏スタイルの変化	○	○		学習の方法
			○	○		
8			○	○		
			○	○		
9	鑑賞	○レ・ミゼラブル	○	○	○	
				○	○	
10	合唱	(中間考査) ○夢やぶれて		○	○	発声や楽器の発音原理について考えたり音楽表現にどのような効果を生み出しているかを話し合うなどして、主体的な鑑賞の活動にする。感じ取ったことを基にして、作詞者や作曲者の意図を考えながら解釈し、それを他者と伝え合うことによって楽曲固有の表情や味わいに対する理解を深める。
	日本の音楽	○人形浄瑠璃	○		○	
			○	○	○	
11				○	○	
				○	○	
11・12		(期末考査)				
						1 知識・技能 曲想と音楽の構造や歌詞、楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めている。 2 思考・判断・表現 音楽を形づくる諸要素の働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽表現するかについて独自の表現意図をもっている。 3 主体的に学習に取り組む態度 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
12	器楽	○篠笛	○		○	評価の方法
			○		○	
			○		○	
1	歌唱	○卒業式の歌	○	○	○	
			○	○	○	
2			○	○		
3	1年間のまとめ	1年間の取り扱った教材		○	○	1 課題・学習プリント 2 平常考査 3 平常学習態度 4 実技 5 出席状況 また、観点別評価(A・B・C)と100点法による評価を行い、学年末において5段階評定に総括する。
【備考】						
※ 評価の観点は愛媛県県立学校評価の手引(愛媛県教育委員会)による。						

令和8年度 シラバス

愛媛県立南宇和高等学校

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	2
年組	3年2組	教科書(発行所)	Joy of Music (教育芸術社)		
月	学習内容	学習の具体的な内容	評価の観点 知 思 態		
4	ソルフェージュ	○ソルフェージュ	○	○	学習の目標 「音楽Ⅰ」及び「音楽Ⅱ」の学習を基礎にして、更に生徒の資質・能力、適性、興味・関心等に応じた活動を展開し、生活や社会の中の多様な音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を育成することをねらいとする。 授業の進め方 歌唱や器楽、創作では、グループワークを多く取り入れ、互いに聴き合ったり、意見を交換したりして、音楽を形づくっている要素を知覚し、諸要素の働かせ方などを試行錯誤しながら、個性豊かに音楽表現を工夫する活動を行う。また、鑑賞においても、グループワークを多く取り入れることで、曲の表現内容やさまざまな表現形態による演奏表現の固有性や多様性及び曲や演奏することと、生活や社会との関わりについて考えを述べ合い、理解する活動を行う。 学習の方法 上記の「授業の進み方」に従い学習していくが、生徒の特性を十分に考慮して授業を行う。また、音楽系の進学希望者の進路実現のために進学希望先の内容に即した実技、授業を行う。 評価の観点 1 知識・技能 曲の表現内容について理解している。創意工夫や表現上の効果を生かした表現をするために必要な技能を身に付け、音楽表現で表している。 2 思考・判断・表現 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、さまざまな知識や技能を関連させながら、どのように表現するかについて独自の表現意図をもっている。 3 主体的に学習に取り組む態度 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 評価の方法 1 課題・学習プリント 2 平常考査 3 平常学習態度 4 実技 5 出席状況 また、観点別評価(A・B・C)と100点法による評価を行い、学年末において5段階評定に総括する。
5	外国の歌曲	○イタリア歌曲 (中間考査)	○	○	
6	器楽	○ギター	○	○	
6		○実技表現テスト (期末考査)	○	○	
7					
8	鑑賞	○ショパンの生涯と作品		○	
9	音楽史	○ロマン派の音楽	○	○	学習の方法 上記の「授業の進み方」に従い学習していくが、生徒の特性を十分に考慮して授業を行う。また、音楽系の進学希望者の進路実現のために進学希望先の内容に即した実技、授業を行う。 評価の観点 1 知識・技能 曲の表現内容について理解している。創意工夫や表現上の効果を生かした表現をするために必要な技能を身に付け、音楽表現で表している。 2 思考・判断・表現 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、さまざまな知識や技能を関連させながら、どのように表現するかについて独自の表現意図をもっている。 3 主体的に学習に取り組む態度 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 評価の方法 1 課題・学習プリント 2 平常考査 3 平常学習態度 4 実技 5 出席状況 また、観点別評価(A・B・C)と100点法による評価を行い、学年末において5段階評定に総括する。
9	世界の諸民族の音楽	○諸民族の音楽	○	○	
10	器楽	○篠笛 (中間考査)	○	○	
10	西洋の音楽	○ドイツ歌曲	○	○	
11	創作		○	○	
11	2学期のまとめ	○実技表現テスト (期末考査)	○	○	
11・12					評価の観点 1 知識・技能 曲の表現内容について理解している。創意工夫や表現上の効果を生かした表現をするために必要な技能を身に付け、音楽表現で表している。 2 思考・判断・表現 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、さまざまな知識や技能を関連させながら、どのように表現するかについて独自の表現意図をもっている。 3 主体的に学習に取り組む態度 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 評価の方法 1 課題・学習プリント 2 平常考査 3 平常学習態度 4 実技 5 出席状況 また、観点別評価(A・B・C)と100点法による評価を行い、学年末において5段階評定に総括する。
12	歌唱	○卒業の歌		○	
1	1年間のまとめ	○実技表現テスト	○	○	
2					
3					
【備考】 ※ 評価の観点は愛媛県県立学校評価の手引(愛媛県教育委員会)による。					

令和8年度 シラバス

愛媛県立南宇和高等学校

教科	芸術	科目	音楽表現	単位数	2			
年組	3年2組		教科書(発行所)	音楽通論(教育芸術社)				
月	学習内容		学習の具体的な内容		評価の観点			項目
				知	思	態		
4	楽典	○楽典 						

令和8年度 シラバス

愛媛県立南宇和高等学校

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	2		
年組	1年1, 2, 3組		教科書(発行所)	新・高校生の美術1			
月	学習内容		学習の具体的な内容	評価の観点			項目
				知	思	態	
4	鑑賞 表現・絵画	なぜこれが美術なのか？(オリエンテーション) 静物デッサン(球体、立方体) 色彩 アクリル絵の具の可能性、混色練習 色彩構成 平面構成 作品相互鑑賞	○		○	学習の目標	
			○	○			
			○	○			
○			○	幅広い美術の制作や鑑賞を通して、自分だけのものの見方で世界を見つめ、「自分なりの答え」を生み出し、それを他 人と共有して、新たな問いを生み出す力を養います。			
○	○		○				
○	○		○				
5	表現・デザイン	○	○		○		
		○	○		○		
		○	○		○		
6	表現・デザイン 鑑賞	○	○	○	授業の進め方		
		○	○	○			
		○	○	○			
							アイデアスケッチや考えた過程を大切にしているので、ワークシートを重要視しています。各課題では、まずワークシートを描き、その後制作し、できあがった作品をクラスの全員で鑑賞します。

令和8年度 シラバス

愛媛県立南宇和高等学校

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	2			
年組	2年1, 2組		教科書(発行所)	高校生の美術2(日本文教出版)				
月	学習内容	学習の具体的な内容	評価の観点			項目		
			知	思	態			
4	鑑賞	表現とは何か(オリエンテーション)		○	○	学習の目標		
		絵画の役割と写真の発明	○		○			
5	表現・鑑賞	水による演出(練習)	○		○	幅広い美術の制作や鑑賞を通して、自分だけのものの見方で世界を見つめ、「自分なりの答え」を生み出し、それを他人と共有して、新たな問いを生み出す力を養います。		
	表現・絵画	作品制作(アイデアスケッチ)		○	○			
6		作品制作	○	○				
			○	○				
			○	○				
			○	○				
	鑑賞	作品相互鑑賞		○	○	授業の進め方		
						アイデアスケッチや考えた過程を大切にしているので、ワークシートを重要視しています。各課題では、まずワークシートを描き、その後制作し、できあがった作品をクラスの全員で鑑賞します。		
7	表現・デザイン	情報を伝えるデザイン マークのデザイン制作	○		○		学習の方法	
8	表現・デザイン	お菓子のデザイン パッケージ制作		○	○			
9			○	○				
			○	○				
10	表現・彫刻	立体制作	○	○			突然自分だけの表現をすることは、とても難しいので、制作に入る前に、たくさんの資料を準備しましょう。そこから自分の考えを深め、自分だけの表現活動へつなげていきます。普段生活する上でも興味のアンテナを広げましょう。	
			○	○				
11	鑑賞 表現・絵画	作品相互鑑賞 奥行や空間をとらえる 水彩練習		○	○		評価の観点	
11・12			○	○				
							授業態度や感想の記述で、主体的に学習に取り組む態度を評価します。各課題の前に先生から説明される作品の解説や、表現技法を理解できているかで、知識・技能を評価します。制作前に描くアイデアスケッチで、思考・判断・表現を評価します。	
12	表現・絵画	風景画を描く トレース 彩色	○		○			評価の方法
1			○	○				
			○	○				
			○	○				
2	鑑賞	作品相互鑑賞		○	○	1 課題・学習プリント 2 平常学習態度 3 実技 4 出席状況 また、観点別評価(A・B・C)と100点法による評価を行い、学年末において5段階評定に総括する。		
3		1年間の振り返り		○	○			
【備考】								
※ 評価の観点は愛媛県県立学校評価の手引(愛媛県教育委員会)による。								

令和8年度 シラバス

愛媛県立南宇和高等学校

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	2		
年組	3年2組		教科書(発行所)	高校生の美術3(日本文教出版)			
月	学習内容		学習の具体的な内容	評価の観点			項目
				知	思	態	
4	鑑賞	表現・絵画	美しいとは何か	○		○	学習の目標
	鑑賞		西洋のまなざしとの出会い	○		○	
	表現・絵画		明暗表現の追求	○	○		
			自画像の制作	○	○		
5				○	○		
				○	○		
	表現・デザイン		グラデーションを生かしたイラスト制作	○		○	幅広い美術の制作や鑑賞を通して、自分だけのものの見方で世界を見つめ、「自分なりの答え」を生み出し、それを他人と共有して、新たな問いを生み出す力を養います。
6	表現・デザイン		ラインスタンプ制作	○	○		
7	表現・絵画		多色木版画の制作 アイデアスケッチ 制作	○		○	アイデアスケッチや考えた過程を大切にしているので、ワークシートを重要視しています。各課題では、まずワークシートを描き、その後制作し、できあがった作品をクラスの全員で鑑賞します。
8							
9							
10							
	鑑賞	表現・絵画	作品相互鑑賞 スケッチとは	○		○	突然自分だけの表現をすることは、とても難しいので、制作に入る前に、たくさんの資料を準備しましょう。そこから自分の考えを深め、自分だけの表現活動へつなげていきます。普段生活する上でも興味のアンテナを広げましょう。
11							
11・12							
12	表現・絵画		スケッチ	○	○		授業態度や感想の記述で、主体的に学習に取り組む態度を評価します。各課題の前に先生から説明される作品の解説や、表現技法を理解できているかで、知識・技能を評価します。制作前に描くアイデアスケッチで、思考・判断・表現を評価します。
1	表現・デザイン 表現・鑑賞		自分らしさを伝えるポートフォリオ 作品相互鑑賞	○		○ ○	
2							
3							
【備考】							
※ 評価の観点は愛媛県県立学校評価の手引(愛媛県教育委員会)による。							

令和8年度 シラバス

愛媛県立南宇和高等学校

教科	芸術		科目	美術表現		単位数	2		
年組	3年2組			教科書(発行所)		表現と鑑賞(開隆堂)			
月	学習内容			学習の具体的な内容		評価の観点			項目
						知	思	態	
4	表現・絵画		気軽にスケッチ、クロッキー 鉛筆で描く 絵具で描く 滲み			○		○	学習の目標
	表現・絵画					○	○		幅広い美術の制作や鑑賞を通して、自分だけのものの見方で世界を見つめ、「自分なりの答え」を生み出し、それを他人と共有して、新たな問いを生み出す力を養います。
5						○		○	
						○	○	○	
	表現・彫刻					○	○	○	
6	表現・鑑賞	○	○	○	授業の進め方				
7	表現・デザイン		マークや絵文字で表す					○	アイデアスケッチや考えた過程を大切にしているので、ワークシートを重要視しています。各課題では、まずワークシートを描き、その後制作し、できあがった作品をクラスの全員で鑑賞します。
8	表現・デザイン					○		○	
9						○	○		
10	表現・絵画					○		○	突然自分だけの表現をすることは、とても難しいので、制作に入る前に、たくさんの資料を準備しましょう。そこから自分の考えを深め、自分だけの表現活動へつなげていきます。普段生活する上でも興味のアンテナを広げましょう。
11	鑑賞					○	○	○	
11・12				○	評価の観点				
12	表現・絵画		透視図法の部屋			○		○	授業態度や感想の記述で、主体的に学習に取り組む態度を評価します。各課題の前に先生から説明される作品の解説や、表現技法を理解できているかで、知識・技能を評価します。制作前に描くアイデアスケッチで、思考・判断・表現を評価します。
1	表現・デザイン					○		○	
2						○	○		
3									1 課題・学習プリント 2 平常学習態度 3 実技 4 出席状況 また、観点別評価(A・B・C)と100点法による評価を行い、学年末において5段階評定に総括する。
【備考】									
※ 評価の観点は愛媛県立学校評価の手引(愛媛県教育委員会)による。									